



百人一首

最近はずっとと百人一首をやることが多く、力尽きた。その時に気になる一句がありました。

たれをかもしるひとに
せむ たかさごの
まつもむかしのともな
らなくに

この歌は歳を重ねるにつれて、友人がひとり、またひとりと亡くなってい

き、自分ひとりだけに、で前に進んでいけるようになってしまった孤独を悲しんでいる歌です。

亡くなった患者さんのご主人や奥さまを診察することがよくありますが、やはりふとした時に故人を想う気持ちは今も昔も変わりません。


そんな時には「よく夜中にトイレに連れて行ってほしいと言われ、夜中は大変だったけど、やはり長年連れ添った奥さんがいないと寂しい」などと、具体的に亡くなられた患者さんへの想いを話していただき、お互いに気持ちを共有すること



松原 清二 医師

在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
 西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
 ■電話対応：午前9:00～午後6:00
 ■定休日：土日（祝日は診療）
 ■訪問地域：西東京市・東久留米・新座・練馬の一部



↑ 診療相談はこちらから

まつばらホームクリニック